

八丈島 水産だより

10月号

2021年



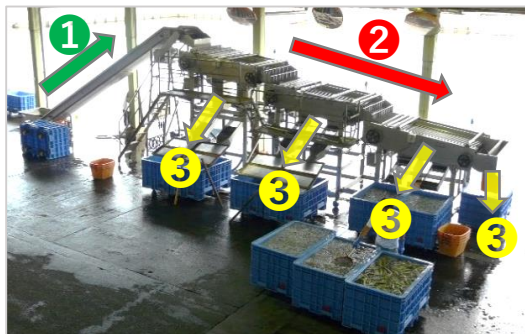
八丈富士の山頂一面に広がる
ハチジョウススキ

まだまだ残暑厳しい日が続きますが、暦の上ではもう秋です。夕暮れ時のトンボや黄金色に輝くハチジョウススキ、澄み渡る秋空を見ると季節の移ろいを感じ、心が穏やかになりますね。また、保育園や学校では運動会に向けて子どもたちが元気に頑張っています。スポーツの秋ですね！

朝晩は少し肌寒く、昼間との温度差が激しいので風邪をひきやすい時期ですが、さつまいもや里芋など美味しい秋の食材をモリモリ食べて、たくさん運動して元気に乗り切りましょう！！

■ 最近の漁模様 ～ムロアジ漁～

8月から始まったムロアジ漁は2ヶ月が経ちましたが、9月は台風の影響などで時化の日が多く、あまり出漁できませんでした。漁獲されたムロアジは大きさによって使用目的が変わるので魚体選別機を使用するのですが、今年は漁獲のほとんどが小さめのムロアジ（小ムロ）であるため、まだ選別機は設置されていません。小ムロは身が柔らかく崩れやすいため加工品としては扱えず、メカジキなどの釣り餌として小笠原に出荷されたりします。

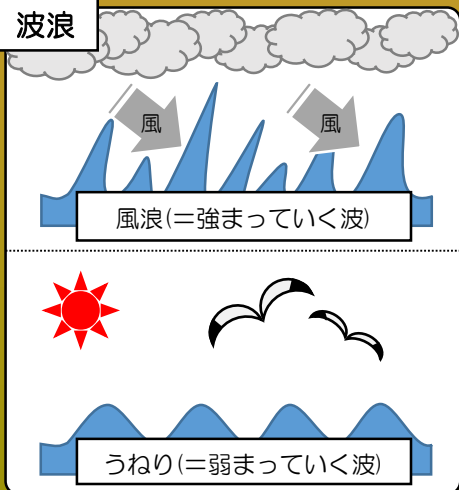


- 魚体選別機
- ①：ムロアジを選別機に流す
 - ②：ふるいにかける
 - ③：サイズ毎に選別される

■ なんで海に波ができるの？

豆知識：波の高さが4～6mまでの状態＝時化（気象庁HPより）
※漁師さんにとっての「時化」とは、出漁できないような海の状態の総称

波浪



海の波は、風から生まれる「波浪」、地震から生まれる「津波」などその発生原因によって分けられますが、最も一般的な波が「波浪」です。波浪には大きく分けて「風浪」と「うねり」という2種類の波が混在します。「風浪」とは海上で吹く風によって生まれた不規則な形の波です。「うねり」とは遠くの海上で生まれた風浪が風の吹かない場所にまで到達したきそくてきかたちなみたと、かぜかいせいばしようみとおうみ規則的な形の波です。例えば、風のない快晴な場所の海が、遠くの海で発生している台風によって荒れることがあります。これが、うねりです。また、常に海に波が生じているのも、多くはうねりが影響しています。